



かんのじ まんのうだいし
四国別格 第17番・神野寺 満濃大師



令和三年元旦
鯖大師より
柳本明善

謹賀新年

初春の
中
上げます



発行所
〒775-0101
徳島県海部郡海陽町浅川
鯖大師本坊同行二人会
電話 (0884)73-0743
FAX (0884)73-3405
編集人 柳本明善
印刷所 (有)前野印刷

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の
携帯サイトです。

人んろ道の言葉
挨拶は勇氣と元氣

愛媛県西条市道中の標語

疫病コロナウイルス

病魔 祈願 退散 通路

今、新型コロナウイルスが全世界に蔓延し猛威を震い人々を不安に落し入れています。

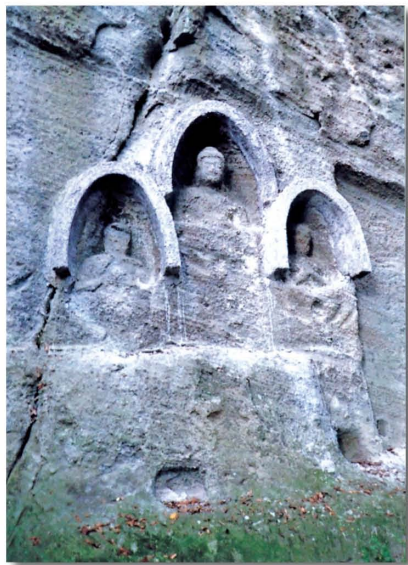
このコロナウイルスは、私達の日常生活を脅かし、人間関係・物事の価値観・生活の方法をも変えようとしています。

過去に疫病は度々おきています。

八世紀中頃、奈良時代には天然痘が大流行、時の天皇、聖武天皇は全国に国分寺、国分尼寺を建て、奈良に東大寺の大仏を造り、人心を統一することによって人々の不安を取り除き、病気を鎮静化されたと言われています。

江戸時代には梅毒やコレラが大流行し、国をゆるがすような大騒動となりました。

このとき、橋本伯寿と言う医者は、伝染病であると知り、患者を隔離することで病気の広がりを防ぎました。



まがいぶつ いやだにじ
磨崖仏 (第71番・弥谷寺)

ナ禍により参加者が危ぶまれましたが、北海道、仙台、新潟、東京と十六名が参加しました。
参加者一同、一抹の不安を持ちながらの巡拝でしたが、歩き出すとその様な不安は無くなり巡拝に専念する事が出来ました。

宿泊所、街中ではマスクを付け、予防に勤め、礼所では一心に読経、コロナウイルス病魔退散を祈願しました。
私達はいたずらに付和雷同する事なく、自分の生活に自信を持ち、病気に対する心得をする。

そして一日も早くワクチンが開発、実用化され人心の不安が無くなり、息の通う生活が出来る事を願っています。

合掌

南無大師遍照金剛

鯖大師ホームページ
URL <http://www.sabadaishihonbou.jp>
*ホームページでは鯖大師由来、過去の掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

歩くも道路
心を洗い 心を磨く

満足行巡拝

第十五回、パート(5)

令和二年十一月十九日より
令和二年十一月二十七日まで

読むお遍路

今回の満足行は菩提の道場・伊予、第六十二番・宝寿寺から涅槃の道場・讃岐、第八十三番・一宮寺までと別格霊場、第十二番・延命寺から別格第十九番・香四寺までの巡拝です。

初日は元気・快調に巡拝

コロナウイルスで心配しましたが十一月十八日、愛媛県西条市のしこくやに集合する。六月以来のなつかしい顔が揃う。

十九日早朝、宿を出て先ず第六十二番・宝寿寺を参拝する。国道十一号線沿いの境内はフェンスで囲まれている。フェンスの外に座し、今回最初のお勤めをする。

第六十三番・吉祥寺は近い。吉祥寺の御本尊は毘沙門天「オンベイシラマンダヤソワカ」と唱える。お勤めの後、高野山で一緒だった御住職より甘酒のお接待をいただく。さらに国道を一時間程歩くと第六十四番・前神寺、境内の奥まった所に本堂、森閑とした雰

囲気が漂う。

四国の最高峰、石鎚山にお祀りされている石鉄蔵王大権現を拜む東の揺拝所として振興を集める修験道の寺である。



第64番・前神寺 本堂

晩秋は午後から山に入っては危険



第65番・三角寺

二日目、新居浜市から四国中央市に入り、別格霊場第十二番・延命寺を参拝する。昨夜は夜半に雨が降る。延命寺は以前、イザリ松と呼ばれた。足の不自由な人が御符を受けると病気が癒えた事に由来する。第六十五番・三角寺は標高四百三十三メートル、暖かい日で大汗をかいて登る。境内は紅葉が美しい。お大師様が三角の護摩壇で護摩を炊いた事に由来する。

午後二時過ぎ、三角寺より別格霊場第十三番・仙龍寺への山越えのへんろ道に入る。道は荒れていて、昨夜の雨で足下は悪い。

午後四時、山の中は暗く足下に気をつけながら五時過ぎに仙龍寺に着く。秋の日は短いので午後から山に入つてはいけないう事を身をもって知る。

車を使って四国中央市のホテルに入り、仙龍寺には二十一日の早朝、本堂にあらがせて戴きお勤めをする。

仙龍寺から別格霊場第十四番・椿堂・常福寺に歩く。椿堂は、お大師さまがこの地で流行していた病気を封じる為、椿の杖を土地に立て、お加持すると病気が治まった。後にこの椿が芽を吹いた事に由来する。

徳島県三好市に歩き、別格霊場第十五番・箸蔵寺を参拝する。本堂までの山道と階段に息を切らす。金毘羅さんの奥の院、大伽藍、社殿が建ち並ぶ。いつもは美しい紅葉が終り気味で残念!



別格 第13番・仙龍寺への道馬場の大桜

雲の上の寺・雲辺寺

第六十六番・雲辺寺へは三好市佐野よりライト片手に山道を登る。雲辺寺は標高九百メートル、四国霊場中、最高所の寺である。

ご詠歌に「はるばると雲のほとりの寺に来て 月日は今は ふもとにぞ見る」と詠まれている。四年前は初雪に震えたが、今回は暖冬で陽気、境内に座しお勤めをする。

十時前に別格霊場第十六番・萩原寺に下る。下り一辺倒で膝が痛む。萩原寺には午後一時過ぎに着き参拝、萩の花の名所の寺である。

第六十七番・大興寺には午後四時過ぎに着く。山門を入ると茅と楠の巨木、歴史を感じる寺である。

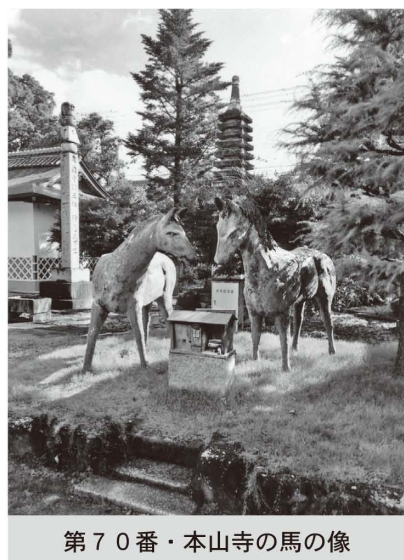


第66番・雲辺寺

一ヶ所で二ヶ寺の神恵院と観音寺

十一月二十三日、今日で五日目。幾分、身体も慣れてくる。六時に一ヶ所二ヶ寺の第六十八番・神恵院と第六十九番・観音寺に着く。

一ヶ所の境内で二ヶ寺分のお勤めは足が痛くなっ



第70番・本山寺の馬の像

てくる。観音寺を出て札所ではないが近くの宝珠寺を参拝する。御住職は高野山での同窓である。

第七十番・本山寺には財田川沿いに歩く。本堂は四国最古の建物で、境内には五重の塔がそびえる。御本尊は馬頭観世音菩薩「オン アミリト ドハン

バ ウンパッタ ソワカ」と唱える。第七十一番・弥谷寺には、国道と旧道を歩く。山門下の俳句茶屋は閉められている。いつも、ここで山雀にヒマワリの種で手の平に乗ってもらおうのが楽しみである。

山門からは階段の連続、大師堂の獅子の岩屋よりさらに階段を息を切らせて登る。

弥谷寺は死霊のくる寺として信仰されている。



第71番・弥谷寺の山雀

別格第十八番・海岸寺へは天霧峠越え

朝五時前、ライト片手に弥谷寺の本堂近くまで登り、天霧峠を越える。下り道はかなり荒れている。海岸寺はお大師さまが産声をあげた寺と言われる。大師堂は線路を挟んだ所にある。

海岸寺より第七十二番・曼荼羅寺に向って歩く。曼荼羅寺の境内には、不老松という立派な松があったが、平成十四年に枯れてしまった。第七十三番・出釈迦寺は曼荼羅寺の上、境内より望む我拝師山は、お大師さまが苦しむ人々を救わんと身を投げると釈迦如来が現れお大師さまを救ったとの言い伝えがある。

第七十四番・甲山寺も近い。お大師さまが嵯峨天皇より満濃池の修築を命ぜられ、池の工事が完成した時に建てられたと伝えられる。

善通寺は八十八ヶ所のシンボルの寺



第75番・善通寺 五重塔

真言宗善通寺派の本山寺、四国を代表する寺である。本堂には薬師如来がお祀りされている。大師堂(御影堂)、五重塔がそびえる大伽藍の寺である。

別格霊場第十七番・神野寺には朝五時に出て自衛隊の駐屯地、金毘羅山の琴平からまんこのう町に歩く。満濃池は日本最大の溜池、度々決壊する池をお大師さまは護摩を炉き工事を指揮、池を完成させました。神野寺は池を守る寺として建てられました。

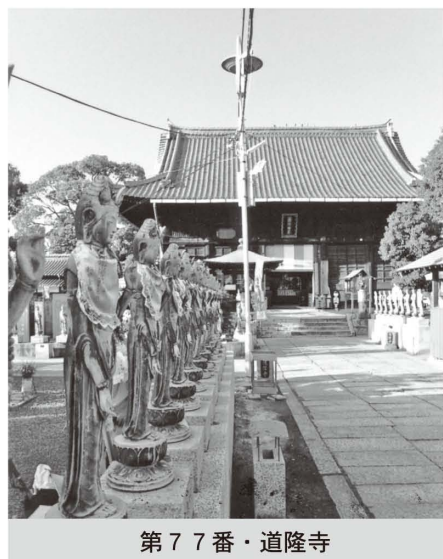
神野寺から再び善通寺市内に歩き、第七十六番・金倉寺を参拝。金倉寺はお大師さまの甥、智正大師円珍が開祖の天台宗の寺である。

善通寺市から多度津町に歩き、第七十七番・道隆寺を参拝、目の病気に霊験があると信仰されている。

崇徳天皇ゆかりの寺、天皇寺・白峯寺

第七十八番・郷照寺には七時前に着く。山門は閉まっていたが、門の横より境内に入らせてもらい参拝。境内より瀬戸大橋を眺めることが出来る。坂出市の旧市街を歩き、第七十九番・天皇寺。保元の乱で讃岐に流された崇徳天皇ゆかりの寺である。境内正面には崇徳天皇社(白峰神社)その参道の左側に本堂、大師堂、右側に本坊、納経所となっている。

第八十番・国分寺は聖武天皇が全国に建てた讃岐の国分寺で創建当時は壮大な伽藍であったと伝えられる。国分寺から遍路ころがしを登り、一本松から第八十一番・白峯寺の山道を歩く。午後五時過ぎ白峯寺に着く。お堂を開けていただいていたのでお勤めをする。



第77番・道隆寺

五色台の根香寺から別格香西寺・一宮寺

第八十二番・根香寺に早朝参拝。紅葉の名所であるが暗くて見えない。大師堂前でお勤めをする。五色台を下り高松市に歩く。

別格霊場第十九番・香西寺を参拝して高松市街にある八十三番・一宮寺に歩く。香東川を渡り、午後一時半に一宮寺に着き最後のお勤めをする。一宮寺は讃岐一ノ宮の田村神社と隣り合わせである。

十一月十九日、第六十二番・宝寿寺を参拝し、九日間、幸い天氣に恵まれ、事故もなく巡拝を終えることが出来ました。道中では多数の方々よりの応援またはお接待をいただきました。

全てお大師さまのお陰、御加護に感謝いたします。

合掌



別格 第19番・香西寺

※別格(四国別格霊場)

修行期間 十一月十九日(土)~二十七日(九日間)

参加者 十六名(一部参加者を含む)

歩行距離 二二・四km(一部車を使用)

南無大師遍照金剛

私の満足行 讃岐路へ



北海道 美唄市 牧野 均 奈穂子

札幌でコロナが急激に増加し、PCR検査の「陰性」の結果をみて四国に向かいました。

今回は、空海が生まれた讃岐。作家の司馬遼太郎は「空海の風景」の中で、空海が四歳の時に見た瀬戸内を西へ帆走する遣唐使の大船団と古墳時代さながらの草深い環境の中で、世界の普遍性への夢想を育てた場所、としている。

六日の早朝、電灯片手に岩と倒木の遍路道を下り海岸寺へ。参拝後モーニングを食べ、その日の目的地である善通寺方面に歩く。

七日目は、神野寺から。おそらく、少年時代の空

海が最も行き来し普遍性への夢想を育てた場所をおよそ一日で歩きとおす。

遅く結婚した私たちの下、昨年、大学通学のため、たった一人の子どもが独立した。そして、巣立つ子を見て、今更ながら、はたして世界の普遍性を求める子に育ったのだろうか、と思ひ悩む。

ただ、歩きながら感じたことは、そんなことはどうでも良いことなのだろう、ということ。

今回の遍路も書き尽くせない色々なことがありました。そしてすべてが、即遍路なのだ感じるところです。

二月が少しでも状況が良くなっていることを願っています。

合掌

南無大師遍照金剛

ブログ

「鯖大師本坊歩き遍路・沙門明善」

*満足行修行の道中日記や写真をブログで更新しています。ご覧下さい。


第16回 歩くお遍路「人生即遍路」

心と洗、心と磨く 満足行 日程表

	修行年月日	修行巡路
パート1	令和3年 6月18日(金)~ 6月26日(土) (9日間)	第1番・霊山寺より 第23番・薬王寺(別格)1番・大山寺 (別格)4番・鯖大師本坊 214.7 km
パート2	令和3年 11月5日(金)~ 11月12日(金) (8日間)	第24番・最御崎寺より 第36番・青龍寺 200.4 km
パート3	令和4年 2月8日(火)~ 2月17日(木) (10日間)	第37番・岩本寺より (別格)5番・大善寺 (別格)6番・龍光院 第42番・仏木寺 282.3 km
パート4	令和4年 6月18日(土)~ 6月27日(月) (10日間)	第43番・明石寺より 第61番・香園寺(別格)7番・出石寺 (別格)11番・正善寺 265.7 km
パート5	令和4年 11月5日(月)~ 11月14日(水) (10日間)	第62番・宝寿寺より 第83番・一宮寺(別格)12番・延命寺 (別格)19番・香西寺 232.4 km
パート6	令和5年 2月8日(水)~ 2月13日(月) (6日間)	第84番・屋島寺より 第88番・大窪寺(別格)20番・大瀧寺 (別格)4番・鯖大師本坊 高野山奥ノ院 130.8 km
計	53日間	1,326.3 km

※日程・距離には若干の変更があります。
※(別格)は別格二十霊場です

百八煩惱消滅の道
歩くお遍路
心を洗い 心を磨く
満足行代参巡拝



四国八ヶヶ所霊場・別格二十ヶヶ所霊場
百八ヶヶ寺、百八回のご祈願
あなたに代わり、歩いて巡拝
令和三年二月 八日(月)～
令和三年二月十三日(土)
六日間

第十五回、満足行パート6は、第八十四番・屋島寺より第八十八番・大窪寺、(別)二十番・大龍寺、(別)四番・鯖大師本坊から、高野山・奥の院まで歩いて巡拝を満願致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方歩いてお参りしたくても出来ない方あなたに代わり歩き、お願い事を百八ヶヶ寺の御宝前にてお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

ご祈願料(一人一願)
三千元以上

※代参ご祈願ご希望の方は二月一日までにお申し出下さい。代参巡拝後ご祈願札をお授け致します。


自分の道を見つけよう、幸せの道を見つけよう！

人生即遍路 第15回
満足行
歩くお遍路
パート6

参加料 **10,000円**
傷害保険料、渉外費に充当

車使用料 **20,000円**
※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担。

日時：令和3年2月 8日(月)～
2月13日(土) 6日間
集合：令和3年2月 7日(日)
香川県高松市 きらら温泉
巡路：第84番・屋島寺～第88番・大窪寺～
(別)20番・大龍寺～(別)4番・鯖大師～
高野山・奥の院まで
(歩行距離 130,8km)



逆巡拝成満お礼参りと高野山・奥の院まで

※参加申し込み〆切日 令和3年1月20日 参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

二月三日、星まつり大柴燈護摩

檀木祈願のお勧め

檀木に願いを書いて
ご祈念致します
◎数に限りがあります、
集まり次第終了させて
頂きます。

壹萬円

※お申し出はお電話にて承ります。



二月三日、星まつり大柴燈護摩

特別大添護摩木

長さ2メートルの特別
大添え護摩木です。
柴燈護摩壇を囲い、ご祈念
して火を燈します。

一願三千元

本厄の方、ご病気の方、今年の星回りが黒星の方、良い一年になるよう節分・運勢の変わり目に御祈願をお勧め致します。



大不動明王
護摩堂奉安祈願



お不動様のお力に
おすがりして
あまねく悪を退け
迷いを断ち切り
願いを成就して
いただきたいのです

永代ご祈願大不動明王



護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm

重さ8kg

願主奉納料
参拾萬圓也
ご祈願
金

令和二年七月一日より令和二年十一月三十日まで奉納された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。この期間以外の方はここに掲載されておられません。(敬称略)

大不動明王
願主ご芳名

東京都

川嶋 優之

山口県

松本 裕紀

福岡県

和田 美穂子
二体



へんろ会館、畳替え御浄財の御礼

一口千円

- 一口 (一名)
- 二口 (二名)
- 三口 (一名)

令和元年十一月より令和二年十一月三十日に寄進された方です。

(敬称略)

へんろ会館、設備におきましては宿泊の方に十分なお世話、行届かない所もあり、ご迷惑をおかけしております。皆様には頂いたご浄財にて、徐々にはありますが、畳・襖を張り替えさせてもらっております。ありがとうございました。畳替えご浄財ご奉納された皆様、ここに厚く御礼申し上げます。これからも、お遍路さんが快適にお泊り出来ますよう、お力添えの程、宜しくお願い致します。



一月十五日(金) 午前六時
鯖大師境内

法要にご参加、ご宿泊の方、一年間の無病息災をご祈念した小豆粥をお接待!

宿泊ご希望の方、お申し出下さい。

古いお札は...

一月十四日までにお送り下さい。お守り、お札以外はお断りします。

永代、位牌
祥月命日供養

お大師さまご修行の霊地四国でお位牌、過去帳を毎月の月命日にご供養致します。

位牌預り命日供養
過去帳記入

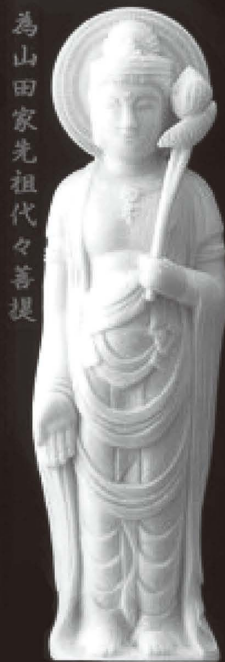
一基 参拾萬円

祥月命日供養
過去帳記入

一霊 拾萬円

三十三観音霊場永代奉安

白衣観世音菩薩



為山田家先祖代々菩提

願主 徳島県 山田 太郎

私にちと苦みかた
救い尊く仏
観音さまに願ひを
一願一体
貳万円

白衣観音奉納願主ご芳名

兵庫県 阿部 英次
山口県 新本 涼子

香港 梁 梁 廖 美
筠 焯 堯 珊
珞 堯 珊

令和二年七月一日より令和二年十一月三十日まで
に奉納祈願された
方です。

(敬称略)

地藏尊奉納願主ご芳名

愛知県 澤田 研一

令和二年七月一日より令和二年十一月三十日まで
に奉納祈願された方です。

(敬称略)



八十八ヶ所お砂ふみ
蓮華台奉納供養
のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場ご
宝前に立体的な蓮華台を設置。
蓮の華にいだかれながら、お砂
ふみ修行をしていただきます。
今、私たちはご先祖様の尊いご
縁で生かされており、また毎日あ
らゆる力のおかげで生活しており
ます。この尊いおかげの心をご供
養するお気持ちで蓮華台奉納のお
申し出をお願い致します。奉納供
養は一口壹万円とし各霊場側面に
府県名、ご芳名を記し永代にご供
養させていただきます。

合掌

奉納数は一〇八ヶ寺で終了
とさせていただきます。



一口壹万円

※一人何口でもお受けいたします。



(一ヶ寺30名様完成品)
奉納者名は不動洞にて
永代にご供養致します。

徳島県 山田 太郎

蓮華台奉納のお申し出をしてい
ただける方は、お願い事、施主名を
お知らせ下さい。
※申し込み用紙をお送り致します。

特選 鯖大師名香

新春に
福よかほ
香りをさ!!



蓮華の香り
福の光

進物 三、八〇〇円
徳用 一、八〇〇円
小箱 九〇〇円

蓮華台奉納願主ご芳名

第八十四番 屋島寺

千葉県

村上 潤子
村上 誠司

福岡県

和田 守親
和田 信博
和田 静江
和田 美穂子

令和二年七月一日より令和二年十一月三十日まで
に奉納祈願された
方です。

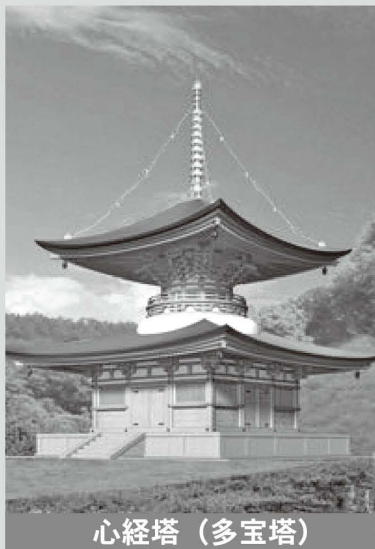
(敬称略)

愛媛県 中村 文子

般若心経 多宝塔

お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。
 皆様のお写経奉納をお願いします。
 お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。
 奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙 (三十枚つづり)

一冊 千円

荷具送料 五百円

お写経奉納料
一卷(一枚) 千円

奉納お写経 1000,031巻

右記の巻数は、平成二年十二月一日より令和二年十一月三十日までの累計です。

新型コロナウィルス 病魔退散 終息成就

お写経奉納の御礼

皆様にお願ひ致しております、新型コロナウィルス病魔退散・終息成就のお写経は、**十一月三十日現在、百八十八巻**を奉納していただきました。
 十一月に入り感染者が増加、第三派が発生しています。手洗い、うがい等の自己防衛を維持され、健康に留意してお過ごし下さい。
 一日でも早く平穏な日々が戻りますように心よりウィルス終息を願ひ、皆様
 の書かれたお写経を奉納させていただきます。
 ※尚、引き続きお写経浄書のご協力、お願ひ申し上げます。

合掌

鯖大師・多宝塔

志萬羽鶴

ご奉納 一羽・千円

鯖大師では皆様の願ひ、志萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に願ひを込めて折って戴いた鶴「志萬羽鶴」のご奉納祈願を發願致しました。
 皆様の願ひを多宝塔の観音さまにお供えし、飛天さんに天空へと届けて戴きます。
 「お願ひ事、お名前を書き、一折り、一折りに想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」



多宝塔内、奉安

右記の数は、平成二十五年十一月三日より令和二年十一月三十日までの累計です。

奉納折鶴

二、六二五羽



般若心経 折り紙 願掛け千羽鶴

千枚・二千円

ご病氣の方の快復を願ひ、
 子宝、出産、試験等の諸願成就の為、
 亡くなられた方の慰霊鎮魂の為、
 様々な願ひを鶴に込めて
 お折り下さい。



春の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を（ちゆうにち）とし前後の三日間を合わせた七日間を言います。三月十七日水・三月二十三日火
この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとり」の境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え（六波羅蜜）を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

彼岸の入りから明けまで七日間

- 【布施】他人へ施しすること
- 【忍辱】不平不満を言わず耐え忍ぶ
- 【禅定】心を安定させること
- 【持戒】戒を守り、反省すること
- 【精進】精進努力すること
- 【智慧】真実をみる智慧を働かせる

一霊 三千万

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでご供養下さい。

無明を照らす光明

ご先祖さまと現世を結ぶ架け橋

献灯供養

令和三年度

壱ケ年間「月命日」献灯（壱万円）

仏教では苦しみの根源、迷いや煩惱を「無明・むみょう」と言います。炎は不浄を燃やし魔を除き浄化して清める働きをします。光明は人が煩惱の暗闇から脱却するための道を明るく照らし、仏の智慧と救いを現します。この献灯を供えることが明かりを頼りに現世の私達のもとへ導かれ、智慧を以て悟りを得る手助けとなります。

※星祭り御祈願、お申し出の方はお急ぎ下さい。



結願大柴燈護摩

午後1時

炎の中には不動明王がおられる護摩は全ての不浄や災難を焼き尽くして下さい



厄除け開運護摩

午前9時

お申し出の星祭り祈願は1月5日、寒の入りの開白より2月3日の結願までご祈念致します



火渡り修行

午後2時

知らず知らずに犯している罪を焼き払い、心身共に清め得難き、ご利益を授かります



大般若経法要

午前10時

大般若経600巻転読の風（般若の風）は遍く広く功德があるとされています

運命を司り左右する星

「当年属星」

災を取り除く星を供養して

一年間の無事と幸福を祈ります

即今・星祭り

●星を○に変える祈願

結願大法要、令和三年二月三日（水）